

東北商工時報

毎月一回廿三日発行
 編集兼発行 堀越梅吉
 印刷所 福島縣平町新川町廿二
 發行所 東北商工時報社
 印刷所 昭和活版所
 廣告料 一行金五十銭
 一ヶ月金十銭
 一年郵税共一圓廿銭

町南平
 所版活和昭

自力更生に就て

農村救済が時局問題の中核となり吾人も自力更生の根本問題については早やくもこれを高調した。もつとも農村の現状に瀕死の重患であり出来得るだけの自力更生策は什盡して行詰りでありとし自力更生の餘地は既にならぬとの議論をなす人もある。然しそれは餘りにも皮肉な見解であり現状と云へども尚自力更生の途なしとせぬのである。例へば農村自から農村計画を立て農業経済の内容充實に精進するならばそこに自ら更生の途が開け窮乏の極度を緩和することを得るのである。

農村が共同的に自力更生策の實現運動に當れば確に或る程度の更生は望み得られるのである。然し農村が全然獨力でやることは窮乏の極にある際すこぶる困難といはねばならぬ。要するに自力更生と云ふことは農民の自覺といふに歸するのである。農民各自が覺醒し自力更生運動に直進するならばそれだけの實績

は確に得らるゝのである。吾人は農村の自力更生も農村救済の一として多くの意味を有することを重ねてこゝに強調する。政府の救済を全然頼らずたゞ自力更生によつてのみ難局を切り抜けようとするのは重患者の農村に取つては到底出来得ることは思はれない。政府の他力救済と農村の自力更生とがうまく併せせらるゝ時に於いて今日の農村は救はるゝものと信ずる。七、八、二五

かの人件費節約に供し出でては炎天焼くが如き日中にあつて一般労働者と共に油と汗とにまみれつゝ立つその姿を見るとき誰か實質剛健そのもの、如き鈴木氏に敬意を表せざるを得ない。君未だ青春に富み發刺たる元氣と不撓不屈の精神を以つて現下の不況時に直面し

の久しきにわたり、村長として二期を勤め政黨政派を超越し以つて村勢の向上を計り山村振興、地方民の指導に専念する、とき人望は彌が上にも高まり慈父の如く仰がるゝ濃厚篤實の士である。氏は地方に於ける豪農として近在にその名高く、かつては煙草の栽培をなせしことあり目下は養蠶に力を注ぐと聞く。幾年かの永き間、經濟界不況の余波を受けてきた當村

如信上人の誕生地として有名な東白河郡竹貫村々長大樂彦次郎氏は明治二十年頃より村政自治に身を投じ村會に議員たること二十余年の久しきにわたり、村長として二期を勤め政黨政派を超越し以つて村勢の向上を計り山村振興、地方民の指導に専念する、とき人望は彌が上にも高まり慈父の如く仰がるゝ濃厚篤實の士である。氏は地方に於ける豪農として近在にその名高く、かつては煙草の栽培をなせしことあり目下は養蠶に力を注ぐと聞く。幾年かの永き間、經濟界不況の余波を受けてきた當村

縣南事業界に雄飛する
 江口伊六氏
 縣南地方事業界の立役者として又人望家として重きをなす江口伊六氏は土木建築の請負を本業とするかたわら大平生命保險株式會社代

新聞記者としての使命を果す考へなれば何分よろしく將來御聲援の程熱望致す

農工銀行支店長
 仲條常藏

材木町 倉庫業人參商
 成田太助

猪苗代町
 旅館 いせや

日本硫黄株式會社
 耶麻軌道部

町長 小島勇
 助役 佐藤金三郎

新瀧旅館

開店
 家具製造
 雜貨
 警城平新川通

耶麻郡吾妻村樋ノ口
 吾妻電燈株式會社

喜多方町
 町立實科女學校

會津沼尻中ノ澤温泉

白城屋

花屋旅館

昔のゆかしさを今にたゞえる塙の宿
 昔時より塙の宿として其名世にうたわれた地も交通不便の結果余りに開けざりしが水郡南線の開通以來非常なる發展を來たし往時の繁榮もさこそと思はるゝやうになつてきた。
 この通りの中ほどにある花屋旅館こそは塙の花やとしてその名を今につたへらるゝ古き昔よりの歴史をもつ家柄である。
 當主早田政氏は現に二業組合長として重きをなすと共に料理業以外種々麻雀等も經營し當地第一の旅館である。そして丁寧親切をモットーとし設備は至りつくさざるはなく主人始め一般使用人に至る迄言葉づかいと云ひ客の應待振り云ひ實に人やかなことはさながら京の街にあるかの感を抱かしむる。
 注。意。二面三面の第二號第三種郵便物認可とあるは第三種第三種郵便物認可出願中の誤なり

- 衆議員議員
 八田宗吉
 中野寅吉
 助川啓四郎
 佐藤庄太郎
 小島智善
 鈴木辰三郎
 衆議員議員
 比佐昌平

大樂彦次郎氏

人望を一身に受け村政に一生を捧ぐ
 如信上人の誕生地として有名な東白河郡竹貫村々長大樂彦次郎氏は明治二十年頃より村政自治に身を投じ村會に議員たること二十余年の久しきにわたり、村長として二期を勤め政黨政派を超越し以つて村勢の向上を計り山村振興、地方民の指導に専念する、とき人望は彌が上にも高まり慈父の如く仰がるゝ濃厚篤實の士である。氏は地方に於ける豪農として近在にその名高く、かつては煙草の栽培をなせしことあり目下は養蠶に力を注ぐと聞く。幾年かの永き間、經濟界不況の余波を受けてきた當村

縣南事業界に雄飛する
 江口伊六氏
 縣南地方事業界の立役者として又人望家として重きをなす江口伊六氏は土木建築の請負を本業とするかたわら大平生命保險株式會社代

- 縣會議員
 井上茂作
 赤坂毅一
 金子健吉
 金子卯吉
 唐橋重政
 金澤治右衛門
 松永高之助
 太田秋之助

濱の名湯 谷地 鑛泉

連日焼くが如き炎暑を避け
て人々は海へ山へと行く
き記者はこの苦熱を濱の名
湯谷地鑛泉へと逃れた
平驛より汽車に投じて三十
分久之濱に下車直ちに自動
車を馳つて青戸を渡りそよ
そよと吹きくる涼風に總て
の煩苦を忘れ大久川溪流の
飽かず眺めを友として約二
十分山紫水明好個の温泉場
谷地の地へと着く
湯宿は石川、田村の兩館あ
り何れも清礎な昔ながらの
ゆかしき漂ひ花崗岩造りの
湯槽その他設備は至りつく
せざるはなく経費低廉なる
こと實に驚くものあり渡邊
駒吉、佐藤重治の兩主人を
始め使用人に至るまで親切
を第一として浴客に好感を
もたらすこと大なり
當谷地の鑛泉は一名小寶温
泉の名あり胃腸、疝疾、切
疝婦人病等に特効ある靈湯
として古來遠近よりの浴客
も多々ありしが山間避地と
のことゝて其の名余りに知
られざりしも文明は一日一

日と開け行き平より一時間
にして此の濱の名湯に着く
ことの出来る今日遠からず
して福島縣有数の名勝地又
湯治場として實現するもの
と思ふ
湯宿がりの姿を欄干にもた
せ遠く河鹿の聲をききつ、
暮れ行がんとする雨の山々
を眺むるとき涼風に明けて
行く谷地の一夜は忘れ難き
ものである。
谷地の小丘より
湧いて出る水は
諸病に効めが世に知られ
濱の奥にも
谷地の湯がござる
一度來なんせ二人連れ
おやぶ遊べば
おかみがおこる
之を治すにや谷地のお湯
痔疾リユマチ患ふ
方は
一度來なんせ谷地の湯へ
胃腸病む人
谷地の湯へおいで
七日たぬで全治する

當選御禮

貴族院議員 **金成通**

石城郡錦村

胃腸病 の名湯

會津沼尻中ノ澤温泉
旅館 朝日屋

會津沼尻中ノ澤温泉
旅館 花見屋

會津沼尻中ノ澤温泉
旅館 西村屋

會津沼尻中ノ澤温泉
旅館 扇屋

會津沼尻中ノ澤温泉
旅館 扇屋

平町 町長 伏見彦衛
助役 酒井寅之輔
平町土木建築請負業

丸山組
佐佐木健次郎
猪狩菊三郎
荒川銀次
只野忠康
佐々木喜平

平町土木監督所長
平町土木監督所長
平町土木監督所長
平町土木監督所長
平町土木監督所長
平町土木監督所長

マル柴田書店
電二三四番

小林清吉

町長 鈴木榮
助役 高木保
收入役 樋口進

小名濱町 村長 上淨代二
立花雄七
小松重兵衛

馬目善右衛門
植田町長

鷺清昇
小名濱

二本松電気會社
支店長 初川茂藏

石城郡錦村消防組頭
山崎登
植田町土木建築請負業

中山組
赤津庄兵衛
川部村長
兒玉萬平

泉村長
上遠野新重郎
勿來町

大平睦四郎
植田水力電気株式會社

國安稔之助
内郷村土木建築請負業

吉川久太郎
四倉町長

新妻盛
四倉町

大和田安太郎
夏井村 村長

阿部瀧藏
湯本町

常陸館
湯本町

若松條助
湯本町

廣野村長
鈴木忠良
助役 大和田忠
收入役 小磯軍平
大久村村長

柳井義一
水野谷幸一
收入役 飯島助藏

大原榮三郎
富岡町消防組頭

蛭田恭三
富岡町

大原本店
富岡町

本間廣義
富岡町

龜田政八
新山郵便局長

須田秋之進
双葉中學校長

田中清太郎
新山町土木請負業

濱谷信夫
請戸郵便局長

鈴木周藏
請戸消防組頭

上田善次郎
浪江町

幾世橋村長
志賀一郎
小高町長

三島庄藏
小高町土木建築請負業

時田子之助
堀江工業株式會社

江口忠一
片官製城製絲株式會社

辰野賢造
工場長

小野普平
豐城水産工業株式會社

萩原申八
小田炭礦萩原礦業部

吉村吉村豹藏
吉村炭礦株式會社

高階一郎
五十嵐炭礦不動澤礦業所

佐藤留藏
浪花炭礦礦業所

杉山今朝吉
杉山炭礦礦業所

隅田川炭礦
礦主 小田吉次

原町々長
松永七之助
原町土木監督所長

鈴木義雄
鹿島町長

星寅五郎

星寅五郎

星寅五郎

星寅五郎

星寅五郎

星寅五郎

星寅五郎

星寅五郎

星寅五郎

星寅五郎

星寅五郎

星寅五郎

東白河郡
縣會議員
鈴木英亮

同 驛前
渡邊健藏
木炭製材

竹貫村
雙葉館
湯の口温泉

豊里村
高信 正明
村長 藤田賢次郎
助役 荒川武雄

近津村
菊地武比古
元湯 八幡屋

石川郡

元湯 八幡屋

胃腸病
の名湯

石城郡錦村
二本松電氣會社
支店長 初川茂藏

湯本町
若松條助

浪江町
上田善次郎

隅田川炭礦
礦主 小田吉次

會津沼尻中ノ澤温泉
旅館 朝日屋

會津沼尻中ノ澤温泉
旅館 花見屋

會津沼尻中ノ澤温泉
旅館 西村屋

會津沼尻中ノ澤温泉
旅館 扇屋

東白河郡

縣會議員
鈴木英亮

柵倉町長
宗田利助

同助役
大谷晋

同郵便局長
井上光男

同營林署長
赤塚虎三

縣立農藝學校長
根本元吉

柵倉土木監督署所長
岡山定穂

同小學校長
加藤忠壽

柵倉農長
伊藤太一

磐城無盡柵倉出張所
柳井祐

石川郡校長協議會
井上科醫院

柵倉町
院長 井上秋太郎

同
會田自動車商會

矢吹白河石川乘合貸切

同 驛前
渡邊健藏

木炭製材
前縣會議員
矢内清治

竹貫村
村長 大樂彦次郎

同助役 赤坂運作

收入役 大平通

竹貫村會議員
矢内常吉

根本正信

坂本寅吉

大樂喜一郎

本郷角次

矢内茂一郎

矢内太一

青柳寅松

鈴木政時

薄井安三郎

竹貫郵便局
綠川局長

竹貫消防組頭
野木喜久治

竹貫村
三森醫院

院長 三森光三

竹貫村
佐藤醫院

同 村

同 村

同 村

同 村

竹貫村仙石
湯の口温泉
雙葉館

竹貫村
旅館 辰巳屋

竹貫村
荒物 永沼一郎

雜貨 宮本村

村長 瀨谷清藏

同助役 水野艶信

宮本村小學校
菱花新作

職員 一同

鮫川村
村長 芳賀金之助

同助役 本郷留藏

同收入役 宗田重一

赤坂郵便局長
大池太彌

鮫川村會議員
湯座一男

鮫川湯ノ田温泉
鈴木兵吉

上ノ湯

下ノ湯

鈴木旅館

アルカリ泉にして胃腸病
人病に特効あり

豐里村
村長 高信正明

同收入役 高信定之助

東館驛長
須田正之助

豐里村消防組頭
金澤壽

鐵道省指定
小室博俊

吉田屋旅館

那須屋旅館

常磐自動車商會
佐川義房

鈴木亮

土木建築請負業
東橋工場

豐里村東館
藤井卯之助

石井驛長
市毛祐宗

石井郵便局長
菊地順一郎

石井村
鈴木宗治

同助役 松本才一郎

常 村
村長 藤田賢次郎

同助役 荒川武雄

常 村
菊地久美

常 村
塚本彦衛門

常 村
秦春次

常 村
早田政市

常 村
花屋

常 村
江口伊六

常 村
小川吳服店

常 村
芳賀自轉車店

常 村
丸屋旅館

高 城 村
村長 佐藤庄太郎

同助役 松本千代吉

高 城 村
金澤修三

高 城 村
藤田新一

高 城 村
寺山郵便局長

近 津 村
菊地武比古

元湯 八幡屋

山石白村
松浦勇

石川町
鈴木秀助

母畑村
渡邊光英

石川郵便局長
下山田源治

石川町片倉出張員
宮澤忠利

石川町
久保木美之助

岩瀬興業銀行
石川支店

石川町
保健堂藥房

石川町
伊藤藥店

母畑水電第一發電所
主任 高山順藏

湯 泉 上 の 湯
淺川村
村長 矢吹勝之助

同助役 綠川亥之吉

同收入役 角田政吉

淺川製糸所
社長 岡戸優

支配人 北澤與志平

淺川村會議員
芳賀茂吉

同 芳賀悟郎

同 綠川久之助

同 小宅善兵工

田村郡小野新町
町長 小泉音七

小野新町裁縫女學校長
橫山己之七

小野新町 材木商
高橋龜二郎

蠶業試驗所
堀口宣之

田村郡
教員第三組合

亂れ及の影

(一)

良 衛

それは日中からいよいよ暑か
つた初夏の夜のことであつ
た。夕方から一入の蒸し暑
さを増したので、旗本阿部
の家では堪えきれなく主人
の口切れで兩國から涼み船
を出すことになつた。

家内のもは支度で一際ざ
わめいて居る間に、何故か
一人息子の慎之助は裏木戸
からそつと田浦横きのおい
てけ堀の方へ抜け出してし
まつた。

蚊追ひの燈のゆるやかにの
ぼる町を後に、全く人氣の
ない様な淋しい處が欲しい

昨年元服した彼は女中のお
節に戀する様になつた、醜
い彼と美しい彼女の間に戀
は不思議にも湧出した。つた
そうして半年余り順調なか
すかな會合が續けられて來
たのであつたが、近頃、
つて二人の間に或る心の溝
が掘り下げられ出してゐた
それはお節に對して彼の要
求への距離と同時に自己を
知り出した彼一個の人間と
しての悩みである。

片輪者の僻みと云ふもの、
まといつてゐたこともその原
因の一つである。

さうした間にも初戀と云ふ
變潮はいやが上にも炎上つ
て、同時に懊惱の影を濃
くして行つた、だがその一

謹告

本紙の持主たる堀越梅吉氏
は福島自由新聞平支局長と
して多事、不肖良衛主幹と
して入社致せしも淺學の若
輩にして新聞人としての經
歴なく諸賢の満足を得るこ
とは至難である。

然し一度斯界に入り新聞人
として立つべく決心せし余
は明るき社會創建のため正
々堂々の論陣を張り、嚴正
公平の筆創を揮ひ清新潑瀾
たる青春の意氣を以つて紙
上に、壇上に果敢に闘ひ聊
か微力を郷土の文運に献じ
新聞記者としての使命を果
す考へなれば何分よろしく
將來御聲援の程熱望致す

第であります。
尙社將來の發展を期し月刊
を旬刊に改め來月より斯界
に雄飛することになり此々
に御通告申上ます。

終りに諸賢の御聲援多から
ん事を神明に熱禱します。

主幹 高木良衛

◆若松市

市長 佐藤 佐吉

教務課長

坂田 長吉

縣立農村學校長

三浦 信道

農工銀行支店長

仲條 常藏

銀行組合

會津勸業無盡
株 株 會 社

葛岡合名會社

千石町

菊野 長敏

若松驛前 土木建築請負業

兼子 德芳

榮町 土木建築請負業

根本 熊太郎

榮町 土木建築請負業

山田 榮次

材木町 倉庫業人參商

成田 太助

青果糶市場

醬油醸造元

松下 爲藏

銘會洲一 山口儀平

酒 銘花香 宮森常八

若松市天寧寺町

鹽川町

町長 田邊精一郎

助役 渡邊 金三

鹽川町會議員

齋藤 忠八郎

栗林 千代吉

猪苗代町長

山本 親武

土木監督署所長

岩川 政五郎

猪苗代町

旅館 いせや

淺井 甚一郎

六 角 讓

鹽谷 七重郎

遠藤 染藏

猪苗代町

株式 共立銀行

喜多方郵便局長

春日 重明

喜多方營林署長

後藤 克人

喜多方町 土木建築請負業

山口 平一

効多方町

内村 千町

藥草買入所

加賀半藥舖

喜多方町 銀座街

喜多方町

大善 吳服店

喜多方町

風間 善九郎

喜多方町

矢部 善兵衛

長瀨村川桁

日本硫黃株式會社

耶麻 軌道部

喜多方町

佐藤 彌右衛門

喜多方町

冠木 吉郎治

喜多方町

眞壁 守平

長瀨村

阿部 酒造店

阿部 幸雄

翁島村

二瓶 熊太

吾妻郵便局長

山田 米吉

北會津郡

大戸村長

山田 稻夫

上三寄郵便局長

山田 英二

上三寄驛前

九通運 送

上三寄出張所

門田村

村長 渡邊 又三

助役 佐藤 榮三郎

河沼郡

坂下町

小島 勇

町長 佐藤 金三郎

收入 宇内 政次

坂下町

江川 清次郎

野澤町

區長 鈴木 荒三郎

野澤町 土木建築請負業

和久井 豊次郎

野澤町

藤原 善吉

野澤町

齋藤 龍多郎

野澤町 吳服部 材木部

小柴 源次郎

野澤町 鋸製造所

山本 榮太郎

野澤驛前

旅館 十一 鹽屋

電一 五番

坂下町 美術京染

齋藤 嘉助

東山温泉 湯ノ花羊羹

松本 家本舖

温泉土産には名産湯の花を

會津東山村

内湯旅館

白瀧 旅館

電四 番

新瀧 旅館

東北商工時報

開店 家具製造いとう家具店
露 雜貨
磐城平新川通

耶麻郡吾妻村樋ノ口
吾妻電燈株式會社

喜多方町
町立實科女學校

會津沼尻中ノ澤温泉
白城屋

毎月一回廿三日發行
編輯兼發行 堀越 梅吉
印刷所 福島縣平町新川町廿三
發行所 東北商工時報社
印刷所 昭和活版所

南・平 反活和昭

昔のゆかしさを
今にたゞえる塙の宿

花屋 旅館

衆議員議員
八田 宗吉
中野 寅吉